

「Kuala Selangor nature park」

訪問日時：8月19日

移動手段：貸切バス

訪問場所：Kuala Selangor nature park

・Kuala Selangor nature park

クアラセランゴール自然公園は、マレーシアの首都であるクアラルンプール郊外にあるクアラセランゴールという町にある自然公園である。マレーシア自然協会 (Malaysian Nature Society) とセランゴール州政府によって運営されている公園で、敷地面積は800エーカー(約230ヘクタール)。マングローブやジャングルが整備されており、人工的な湿地もあるため、さまざまな種類の植物や野鳥を観察することが可能である。今回は現地滞在1日目、2カ所目の訪問先としてこの公園を訪れた。

まずは目的地に向かうバスの車内。「ジャングルに入るから」と現地ガイドに長袖長ズボンの着用を促された。しかし、上着やズボンを持っていない学生が数名いることが発覚し、衣料品を購入することができるショップに立ち寄ることになった。到着したと言われ目に飛び込んできたのは、なんともヴィンテージ感あふれるショップであった。著者も長ズボンを購入するため店内へ。すると、ほぼすべての商品が5RM(日本円にして約150円)という驚きの価格であった。ただし、販売されている衣類は新品ではなく、日本を含む外国から輸入されたと思われる古着である。大量に陳列された商品の中には「下川」などの名前が書かれた服もあった。とりあえずサイズが合いそうな服を急いで購入し、バスへ戻った。

しばらくするとクアラセランゴール自然公園に到着。各自着替えを済ませたのち、ガイドの方に案内をしていただきながら、緑が生い茂る公園内へと入っていった。一応歩道は整備されているものの、足元は悪く、靴をドロドロにしながら進んでいった。しかし、本当に大変なのはそんなことではなく、歩いていても止まっても容赦なく我々を襲ってくる、大量の蚊であった。公園内はジャングルであるため、虫に刺される可能性があることは事前に知らされており、それは全員が覚悟していた。持っている人は虫よけスプレーも念入りに纏っていた。しかしながら、ジャングルの蚊は強かった。予想以上に強かった。正直なところ、このクアラセランゴール自然公園で何が一番印象に残ったかと聞かれると、真っ先にこの蚊のことが頭に浮かんでしまう。それくらいつらい出来事であった。(358)

蚊の猛攻に苦しみながらも進んでいくと、少し開けた場所に小さな湖があった。この湖は人工的に作られたもので、畔には野鳥観察のための小屋のようなものも作られていた。今回は午後には訪問したため野鳥の姿はほとんど見られなかったが、早朝などの時間帯であ

れば様々な種類の野鳥を観察することができるポイントであつたらしい。ガイドの方によると、野鳥観察の際には大きな音やフラッシュ撮影などは絶対に禁止で、野鳥に対する配慮が最重要視される場所であるそうだ。公園内では虫よけスプレーを使用することも禁止であつた(公園に入る前なら問題ない)。また、小屋以外にも野鳥を観察するためのタワーが作られており、上まで登ってみると湖やその奥の mangrove 林などを一望することができた。

さらに奥へと進むと、 mangrove を間近で観察することができる遊歩道にたどり着いた。公園内の mangrove 林は様々な種類の mangrove で構成されており、遊歩道からはそういった mangrove を間近で観察することができた。姿を確認することはできなかったが、多種多様な生物の貴重な棲み処になっているのだと思われる。遊歩道には手すりがついていたが、ところどころ木材が傷んで崩れ落ちている個所もあり、そういった細かい部分への整備は行き届いていない様子であつた。また、 mangrove 林の遊歩道を抜けて再びジャングルの中へ戻ると、途中で野生のサルに遭遇することができた。一同がカメラを向けて写真を撮っていると、それまでじっとしていたサルに突然歯をむき出しにして威嚇されてしまったが、間近で野生動物を観察できる機会はなかなかないため、うれしい出来事であつた。



(公園内で遭遇した野生のサル)

以上のように、今回訪れたクアラセランゴール自然公園ではマレーシアの豊かな生態系を垣間見ることができた。時間帯等の関係もあり野鳥などは十分に観察することができなかったが、いろいろな意味で印象に残る、有意義な訪問となった。



(公園を案内していただいたガイドの方と、全員で集合写真)

[タグ]

自然公園、マングローブ、野鳥、生態系